

赤潮・貧酸素情報（４）

平成29年6月20日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

6月19日～20日に調査を行った結果、「プロロセントラム」と有害プランクトン「カレニア（ギムノディニウム）ミキモトイの出現が認められました。なお、前回調査までに確認されたヘテロシグマ・アカシオの赤潮は確認されませんでした。

- 柄杓田漁港でプロロセントラム（これまで本種だけによる漁業被害は確認されていません）の出現が確認されました。
- また、有害プランクトン、カレニア・ミキモトイの出現が各漁港内で認められています。
- カレニア・ミキモトイは、数千～1万細胞で魚介類に被害を及ぼします。このような海域では、定置網やかご等、また蓄養の魚介類がへい死する恐れがありますので、警戒をお願いします。

◆ 各地先の各プランクトンの細胞密度 （表層海水1ml当たりの細胞数）

採水場所	採水層	ヘテロシグマ・アカシオ （細胞数/海水1ml）	カレニア・ミキモトイ （細胞数/海水1ml）	プロロセントラム・テンタータム （細胞数/海水1ml）
柄杓田漁港	表層	0	28	25
	底層	0	100	4400
井の浦港	表層	0	3	10
	底層	1	0	-
苅田本港	表層	4	0	32
	底層	3	3	3
苅田南港	表層	4	1	-
	底層	3	2	-
宇島漁港	表層	4	0	-
	底層	3	1	-
吉富漁港	表層	9	0	-
	底層	23	0	-

- 貧酸素は確認されませんでした。
- 天候次第では増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港であっても十分注意してください。
- 引き続き、研究所で調査をしますので、この赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田）までご連絡下さい。

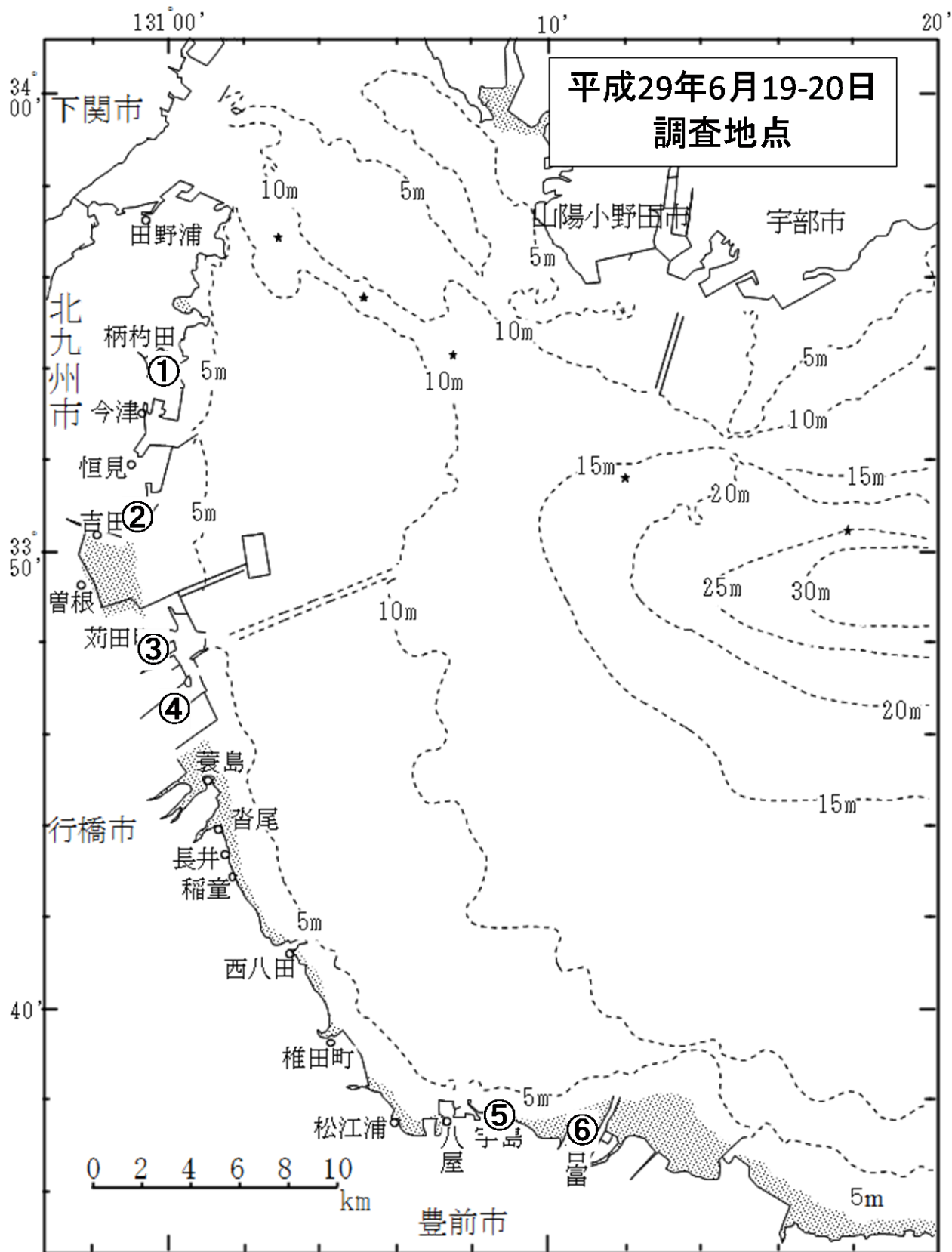


図 調査場所